

教科(科目)	商業(会計)	実施学年 (履修規定)	2学年 必修
単位数	5単位	教科書	実教出版 新会計
		副教材	標準検定簿記問題集 会計
科目の目標	・企業の実態を反映する財務諸表を作成するため、会計における基本的考え方や処理法を習得させ財務諸表についての理解を深めるとともに、財務諸表から得られる情報をビジネスの諸活動に活用できる能力と態度を育成する。		
目標達成に向けての取組	・財務諸表の作成に関する会計処理の方法や考え方など、企業会計の一連の手続きについて、具体的な事例を取り上げて理解を深めさせる。 ・作成した財務諸表を通して、企業の実態を分析し判断するなど、会計情報を活用できる能力やビジネス社会で実践的な活動ができる人材の育成に努める。		

進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	第1編 会計の基礎 第1章 企業と会計 第2章 株式会社の会計の基礎 (設立開業増資) (利益の処分と損失の処分)	・企業の活動や事象を貨幣額によって測定・伝達する一連の手続きである会計の意味、目的及び歴史を通して、会計の必要性について理解させる。 ・株式会社の設立や開業や増資を行う時の会計上の処理の仕方について理解をする。 ・株式会社の設立における株式の発行、決算における未処分利益の計上など株式会社特有の記帳の仕方について理解させる。	・ノート ・問題集 ・自己評価表 ・プリント ・行動観察	・授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度はどうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解) ・要点は整理できているか。 (思考・判断)
5	株式会社の会計の基礎 (社債と税金) 第5章 企業会計制度と会計法規	・社債の意味と社債の発行に関する仕訳及び記帳の仕方について理解をさせる。 ・社債発行差金と社債発行費を償却する時の計算方法と仕訳の仕方について理解させる。 ・会計法規の種類とその目的について理解させる。 ・企業会計原則や商法、証券取引法、法人税等に基づく企業会計制度にはどのような特徴があるか調べ、ノートに整理して理解させる。	・ノート ・問題集 ・レポート ・行動観察	・授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度はどうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解) ・要領よく内容をまとめ、ノートの整理ができているか。 (関心・意欲・態度) (技能・表現)
中間考査				
6	第2編 貸借対照表 第7章 資産の意味・分類・評価 第8章 流動資産	・貸借対照表を作成するために必要な基礎的な知識や技術を習得させる。 ・資産の意味、分類、評価について理解させ、具体的な例を用いてその処理法を習得させる。 ・流動資産にはどのような特徴と勘定科目があるかノートに整理をさせ理解を深めさせる。 ・減価償却については、定率法と生産高比例法の特徴を及び計算方法について理解をさせる。	・ノート ・問題集 ・行動観察 自己評価表	・授業中の学習態度や学習に対する理解度はどうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解) ・要点は整理できているか。 (思考・判断) (技能・表現)

7	第10章 固定資産 (有形固定資産) (無形固定資産) (投資その他の資産)	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産の意味と特徴について、具体的な例を取り上げて理解をさせる。 ・有形固定資産の意味と具体的にどのようなものが該当するか例を取り上げて理解をさせる。 ・無形固定資産の意味と具体的にどのようなものが該当するか例を取り上げて理解をさせる。 ・投資の意味と投資有価証券の期末評価の計算方法と記帳の仕方について理解をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・問題集 ・行動観察 ・自己評価表 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度はどうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解) ・要点は整理できているか。 (思考・判断) (技能・表現)
	期末考査			
8	夏期休暇			
9	第13章 繰延資産 第14章 負債の意味と分類 (流動負債) (固定負債)	<ul style="list-style-type: none"> ・繰延資産の意味と計算方法及び記帳の仕方について理解をする。 ・負債の意味、分類について理解をさせ、具体的な例を取り上げてその処理法を習得させる。 ・流動負債の意味と具体的にどのようなものが該当するか例を取り上げて理解をさせる。 ・固定負債の意味と具体的にどのようなものが該当するか例を取り上げて理解をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・問題集 ・行動観察 ・プリント 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の学習態度や学習の内容に対する理解度はどうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解) ・要領よく内容をまとめ、適切に表現できたか。 (関心・意欲・態度) (技能・表現)
	10	第17章 資本の意味と分類 (資本金) (資本剰余金) (利益剰余金) 第21章 貸借対照表の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・負債の意味、分類について理解をさせ、具体的な例を取り上げてその処理法を習得させる。 ・資本金の意味を理解をさせ、具体的な例を取り上げてその計算方法と記帳の仕方を習得させる。 ・資本剰余金の意味を理解をさせ、具体的な例を取り上げてその計算方法と記帳の仕方を習得させる。 ・利益剰余金の意味を理解をさせ、具体的な例を取り上げてその計算方法と記帳の仕方を習得させる。 ・棚卸法と誘導法にどのような特徴があり、違いがあるのか理解させる。 ・貸借対照表の作成に関する原則を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・問題集 ・行動観察 ・自己評価表 ・課題提出
中間考査				
11	第3編 損益計算書 第23章 損益計算書の意味と基準 (営業収益・営業費用) (営業外収益・営業外費用)	<ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書を作成するために必要な基礎的な知識や技術を習得させる。 ・財産法と損益法に触れ、損益計算の意味と考え方について理解させるとともに、発生主義、実現主義などの損益計算に関する基準について理解させる。 ・営業収益・営業費用の概念を理解させ、具体的な例を用いて処理方法を習得させる。 ・営業外収益・営業外費用の概念を理解させ、具体的な例を用いて処理方法を習得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集 ・自己評価表 ・行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度はどうだったか。 (関心・意欲・態度) (知識・理解) ・要領よく内容をまとめ、適切に表現できたか。 (関心・意欲・態度) (技能・表現)
	12	第26章 特別利益・特別損失 第27章 損益計算書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・特別利益・特別損失の概念を理解させ、具体的な例を用いて利益と損失の処分に伴う一連の処理方法を習得させる。 ・経常損益と特別損益に関する知識を基に、報告式の損益計算書の作成方法を習得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・行動観察 ・問題集
期末考査				

1	第4編 財務諸表の活用 第29章 財務諸表のディスクロージャーと監査	・財務諸表の意味、種類とその役割及び企業の経営成績や財務状態に関するディスクロージャー（情報の開示）の重要性について理解させる。	・問題集 ・行動観察 ・プリント	・授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度はどうだったか。 （関心・意欲・態度） （知識・理解）
2	第30章 財務諸表分析	・財務比率などの財務指標の意味と計算方法を習得させる。 ・同一企業における財務指標の期間比較や同業他社比較を行わせ、収益性、安全性、成長性等の面から企業の実態の分析について理解させる。	・問題集 ・ノート ・行動観察	・授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度はどうだったか。 （関心・意欲・態度） （知識・理解） ・要点は整理できているか。 （思考・判断）
3	第31章 連結財務諸表	・親会社と子会社の意味及び連結財務諸表の目的や種類に触れ、企業グループ全体を評価するという観点から、連結財務諸表の有用性など基礎的な内容について理解させる。	・問題集 ・ノート ・行動観察	・授業に取り組む学習態度や学習の内容に対する理解度はどうだったか。 （関心・意欲・態度） （知識・理解）
学年末考査				

評価の観点及び趣旨

「会計」の総合評価における各観点の割合

関心・意欲・態度	10 %程度	知識・理解	10 %程度
思考・判断	10 %程度	技能・表現	10 %程度
定期考査	60 %程度		